

明治十二年三月二十日

四等屬堀貞亨相

長官

書記官

記録課

乙亥五拾貳号

稟牘規則改定ノ義上申

明治九年十一月乙第百六號ヲ以及上申置候當官使

内稟牘規則別紙ノ通改定候條此段上申候也

明治十一年六月九日

開拓長官黒田清隆

太政大臣三條實美殿

鹿獵規則改正ノ義管内御布達案

乙第二十号

明治九年^{十月}乙第十一號布達當使管内鹿獵規則別紙、
通改定候條此旨布達候事

明治十一年六月廿九日 開拓長官黒田清隆

乙第十一號

當使管内鹿獵規則別冊ノ通相定本年ヨリ施行候條此
旨布達候事

明治九年十一月十一日 開拓長官黒田清隆

北海道鹿獵規則

鹿ハ北海道物産ノ一ニシテ其利タル勤シトセス然ルニ從來獵法制限ナキニ因テ妄獵濫殺繁殖ノ法ヲ缺クノミナラス自然其種ヲ減シ其聲價ヲ落シ人民モ亦遂ニ其利ヲ失フニ至ラントス故ニ之ヲ保護シ永ク其利ヲ失ハザラシメンガ為メ茲ニ規則ヲ設クルト左ノ如シ

第一條

免許鑑札ナクシテ鹿獵ヲナスハ自今之ヲ禁ス

第二條

鹿獵志願ノ者ハ左ノ書式ニ照準シ地方廳札幌本廳及ニ函館根室兩支廳以下之ニ願書差出し免許鑑札ヲ受クベシ

第三條

鑑札ヲ受ルニハ職獵ハキ枚ニ付金弍円五拾貳ツ、遊獵ハキ枚ニ付金五円ツ、獵稅ヲ納ムベシ

但旧蝦夷人ノ職獵ハ當分納稅ニ及ハス

第四條

獵者ノ員ハ年々札幌本廳管内職獵五百名遊獵三拾名函館支廳管内職獵百名遊獵拾名根室支廳管内職獵百三拾名内百名夏獵三拾名冬獵遊獵拾名内五名夏獵五名冬獵ト定メ滿員ノ後願出ル者ハ鑑札ヲ與ヘス

但シ十勝國一円及ニ釧路國并膽振國勇拂郡植苗村字美々ヨリ四方一四里宛ハ鹿種蕃息ノ為該地在籍旧土人ノ外ハ當分出獵スルヲ許サズ

第五條

免許鑑札ヲ受ケタル者ト雖モ毒矢ヲ以テ獵殺スルヲ禁ス

第六條

鑑札ハ一期限ノミ効アリトス且一已ノ用トナスヘキモノニシテ貸借賣買譲造スルヲ禁ス

第七條

獵業ハ根室國一円并北見國ノ内網走紋別常呂斜里ノ四郡ハ五月一日ヨリ十月三十一日マテ其他ハ九月ヨリ翌年二月二十八日閏年ハ二十九日マテ一期限トシ右期限ノ外ハ出獵ヲ禁ス
但免許鑑札ハ毎年三月五日限り最初受取タル地方廳へ返納スヘシ

第八條

鑑札ヲ與フヘカラサルモノ及ヒ銃獵禁制ノ場所ハ鳥獸獵規則第七條ヨリ第八條ノ通タルヘシ

第九條

此規則ヲ犯ス者ノ罰則等ハ總テ鳥獸獵規則第十四條ヨリ第十七條マテノ通タルヘシ

十年前十九

官馬代塚寄正印

書記官

記録課

乙第拾五拾三号

駱新設軍義上申

當使管下判路國厚岸駱同判路駱

同判路那仙島駱駱新設仙島駱

補本年八月昔通送西極別記通

布き此以上

明治十年六月九日

開拓使官黒田清隆

開拓使